



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1158 2019 年 2 月 12 日

ARIBの動き

5G 国際シンポジウム 2019 の開催について

総務省は、2020 年に実現が期待されている第 5 世代移動通信システム (5G) について、「5G が変える 人、モノ、社会」をテーマとした、5G 国際シンポジウム (共催：第 5 世代モバイル推進フォーラム (5GMF) 及び一般社団法人電波産業会 (ARIB)、後援：一般社団法人情報通信委員会) を 1 月 29 日及び 30 日に開催しました。

本シンポジウムでは、総務省が昨年度から実施している「5G 総合実証試験」の成果を広く周知するとともに、5G をテーマとした地方創生とパートナー連携、5G の国際展開に関するパネルディスカッションが行われました。 また、1 月 11 日、総務省が実施した「5G 利活用アイデアコンテスト」の受賞者 5 名によるプレゼンテーションが行われました。

併せて、同会場において 5G が実現する世界を来場者に体感していただくために、総合実証試験に関する展示・デモが実施されました。

1000 名を超える参加者があったとともに、海外からアジア 6 カ国・地域 (タイ、トルコ、インドネシア、マレーシア、台湾、韓国) やフランスの主管庁・大学・企業等の 5G 関係者など 31 名の参加があり、国際色豊かなシンポジウムとなりました。



1. 日付・場所

日 付：2019 年 1 月 29 日（火）及び 1 月 30 日（水）

場 所：東京お台場 国際交流館プラザ平成

参加者：約 1000 名



5G 国際シンポジウム 2019 の会場

2. シンポジウム概要

開会にあたり、主催者を代表して総務省 佐藤ゆかり 副大臣からご挨拶の後に、第 5 世代モバイル推進フォーラム 吉田 進会長（京都大学 名誉教授）から基調講演が行われました。



総務省 副大臣
佐藤 ゆかり 氏



5GMF 会長
京都大学 名誉教授
吉田 進 氏

(1) 第 1 部：地方創生とパートナー連携

【地方課題解決、地域活性化に資する 5G 利活用アイデア】

総務省 中里 学 新世代移動通信システム推進室長による「5G 利活用アイデアコンテスト」の概要説明に続き、下記の受賞者によるプレゼンテーションが行われました。最後に小林 史明 総務省前政務官から、本コンテストの意義や今後の活動に対しての期待を込めた挨拶をいただきました。



総務省 新世代移動通信
システム推進室長
中里 学 氏



総務省 前政務官
小林 史明 氏

- ・総務大臣賞

「5G の特性を活かした高技能工員の労働環境改善・労働安全確保・技術伝承の実現」
愛媛大学大学院理工学研究科分散システム研究室

- ・地域課題解決賞

「同時多接続と低遅延が可能とする近未来の雪害対策」
永平寺町総合政策課

- ・5G 特性活用賞

「山岳登山者見守りシステムにおける登山者発見・空間共有機能の実現」
不破 泰 氏

- ・審査員特別賞

「新しい一体感をもたらす 5G スポーツ観戦」
久保 竜樹 氏

「広範囲同時センシング映像の 5G 大容量データ転送による有害鳥獣対策」
(株)沖縄エネテック

【特別講演】

「5G 時代における IoT・AI 活用方法と組織戦略」
メディアスケッチ(株)代表取締役 伊本 貴士 氏から、
様々な課題解決のため IoT と AI の活用が期待されている
が、そこに 5G が導入されることで価値の高い新たな
サービス（アプリケーション）の可能性があること、また、
5G の特性を生かして、IoT が中央管理型のシステムからブ
ロックチェーンにシステム構成を変えることで、新たな価
値が生まれる可能性があること等について講演がありました。



伊本 貴士 氏

【パネルディスカッション】

「5G パートナー連携」

モデレータ：岩浪 剛太 (株)インフォシティ代表取締役 (5G アプリケーション委員長)
パネリストの大友 真吾 氏 (Cyber Z)、木村 和之 氏 (小松製作所)、末吉 康則 氏
(クボタ) 及び田中貞朗 氏 (セコム) から、各社の取組や利活用分野としての 5G に対
する期待等についてプレゼンテーションが行われました。その後、通信料金体、当面の
提供エリア、従来システムから 5G への移行におけるシステム共存・切替のコスト面等
の留意点等についてのディスカッションを通じて、5G への期待と連携についての認識
が共有されました。



左から：岩浪 剛太 氏、木村 和之 氏、末吉 康則 氏、田中 貞朗 氏、大友 真吾 氏

(2) 第2部：5G 総合実証試験の成果発表

進行役の安達 文幸 東北大学 特任教授
(研究)・名誉教授から 5G 総合実証試験の意義や概要等について紹介があった後、各実証試験の担当者から以下の成果発表がありました。



安達 文幸 氏

- ・「屋外環境における 5G 超高速通信の実証試験」
奥村 幸彦 氏 (株)NTT ドコモ



奥村 幸彦 氏

- ・「高速移動環境における 5G 高速通信の実証試験」
一瀬 正則 氏 エヌ・ティ・ティ・
コミュニケーションズ(株)



一瀬 正則 氏

- ・「5G による超高速アップリンクの応用事例の実証試験」
松永 彰 氏 KDDI(株)



松永 彰 氏

- ・「屋内環境における 5G 超高速通信の実証試験」
横山 浩之 氏 (株)国際電気通信基礎技術研究所



横山 浩之 氏

- ・「自動運転を支援する 5G 超低遅延通信実証試験」
吉野 仁 氏 ソフトバンク(株)



吉野 仁 氏

- ・「5G の多数同時接続を活用した実証試験」

岡廻 隆生 氏 Wireless City Planning(株)



岡廻 隆生 氏

- ・「東広島市における 5G スマートオフィスの取り組みについて」

橋本 光太郎 氏 東広島市 情報政策課長



橋本 光太郎 氏

- ・「5G を活用した救急医療の高度化」

大野 誠司 氏 前橋市 情報政策担当部長



大野 誠司 氏

(3) 第3部：5G の国際展開

【パネルディスカッション】

「5G の電波伝搬」

モデレータ：秦 正治 岡山大学名誉教授

パネリストの欧州 エリクソンの Henrik Asplund 氏、韓国電子通信研究院の HyunKyu Chung 氏、NTT ドコモの今井 哲朗氏から各地域で行っている 5G の伝搬伝搬試験に関するショートプレゼンテーションがあり、続いて、「5G 電波伝搬」の特徴などの知見や今後の研究課題についてディスカッションされました。



左から：秦 正治 氏、 Henrik Asplund 氏、 HyunKyu Chung 氏、 今井 哲朗 氏

【パネルディスカッション】

「5G グローバル展開への日本の挑戦～新たなビジネスモデルは何か～」

モデレータ：日本経済新聞社 編集委員の関口 和一 氏

パネリストとしてグローバルベンダーの6社から岩男 恵 氏(サムスン電子ジャパン)、島田 啓一郎 氏 (ソニー)、根本 健二 氏 (クアルコムジャパン)、藤岡 雅宜 氏 (エリクソン・ジャパン)、水野 晋吾 氏 (富士通)、渡辺 望 氏 (日本電気) に登壇いただき、

どんな分野で競争・協調するのか、5G で日本が巻き返すための方策等について、様々な角度から活発なディスカッションがありました。



左から：関口 和一 氏、岩男 恵 氏、島田 啓一郎 氏、根本 健二 氏、
藤岡 雅宜 氏、水野 晋吾 氏、渡辺 望 氏

閉会にあたり、ARIB 松井 房樹 専務理事より挨拶がありました。

3. 5G 総合実証試験の展示・デモ概要

シンポジウム会場の隣、メディアホールを中心に、5G 総合実証試験の展示ブースが設置されました。

併せて、5G 利活用アイデアコンテストに受賞したパネル展示や、野村総合研究所及び三菱総合研究所から地方とのパートナー連携をテーマとして展示がありました。

多数の来訪者があり熱心に質問する姿が見られました



5G 利活用アイデアコンテスト
(受賞案件パネル展示)



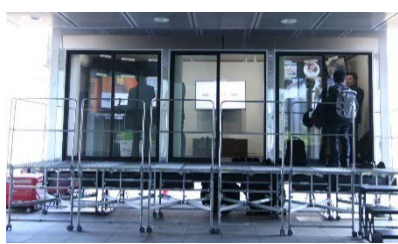
【NRI】(会津若松)
日本酒づくりへの5G活用



【MRI】次世代
モバイルシステム検討



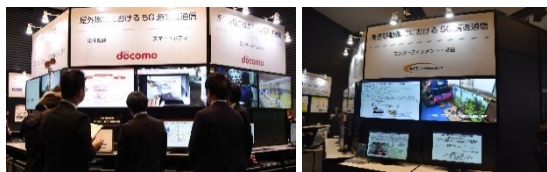
【ATR】高速大容量転送の応用
(駅構内でロボットで見守り)



【KDDI】建機遠隔操作への応用
(屋外トレーラーハウス)



4K 120fps による
撮影映像の伝送



【NTT ドコモ/NTT コム】 屋外環境、
高速移動環境における 5G 高速通信



【KDDI】 ドローン空撮 除雪車運行支援応用
/リアルタイム映像配信



【ソフトバンク】 隊列走行関連



【ATR】 スマートハイウェイ・スマートオフィス



なお、5G 国際シンポジウム及び 5G 総合実証試験について、NHK の取材があり、1 月 30 日の夕方、首都圏ニュースにおいて、『暮らしをかえる！？「5G」の可能性』というテーマで紹介されました。

今週の ARIB 内会合（2 月 12 日～2 月 15 日）

- 2 月 14 日（木） テラヘルツ調査研究会 第 7 回会合
- 2 月 14 日（木） 第 258 回業務委員会

今週の国際会合（2 月 12 日～2 月 15 日）

- 2 月 10 日（日）～2 月 17 日（日） WP5D 31bis 会合（ジュネーブ）

総務省からのお知らせ

**平成 31 年度から実施する生体電磁環境研究及び電波の安全性に関する
評価技術研究の基本計画書（案）に関する意見募集**
【平成 31 年 2 月 7 日発表】

総務省は、平成 31 年度から実施する生体電磁環境研究及び電波の安全性に関する評価技術研究の提案の公募に先立ち、本研究を実施する上での基本計画書（案）を取りまとめました。この基本計画書（案）について、平成 31 年 2 月 8 日（金）から同年 3 月 11 日（月）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【平成 31 年 2 月 7 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

「日テク 2019」開催のご案内



2019 年 2 月吉日
日本テレビ放送網株式会社

「日テク 2019」開催のご案内

3 月 12 日 (火)・13 日 (水) 汐留・日本テレビにて

2002 年～2016 年「デジテク」、2017 年～2018 年「クリエイティブテクノロジーラボ」、テレビ放送とテクノロジーの関係を研究し、皆様に知っていただくために続けてきたイベントが今年から、「**日テク**」(ニッテク)という名前に生まれ変わります。

今回の「日テク 2019」では「**日テレ×テクノロジー×働き方改革**」をメインテーマに、日本テレビグループ各社、ネットワーク各社が出展し、様々な技術的取り組みをご紹介します。

AI による様々な番組制作作業の効率化、出演者が**アンドロイド**でスタッフすら不在な無人スタジオ、**4K・HDR** と SDR の変換手法など、実際の番組制作に役立つ技術、そして新しいテレビの在り方を提案する技術を、番組制作者をはじめとしたテレビに関わる全ての方々に知っていただきたいと思います。

テクノロジーがテレビにもたらす可能性を是非ご体験ください。

- 開催日時：2019 年 3 月 12 日 (火) 11 時～18 時
3 月 13 日 (水) 11 時～18 時
- 会場：日本テレビ内 日テレホール ABC+2F ロビー
- 入場料：無料 (受付にてお名刺 2 枚を頂戴いたします)
- 公式サイト：**※最新情報に関しましては下記ウェブサイトにて順次アップデイトします。**

<https://www.ntv.co.jp/nittech/>



Association of **R**adio **I**ndustries and **B**usinesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp